

# 越前オウレン

オウレンはキンポウゲ科の多年草で、根茎が漢方薬の原料となります。

かつては日本各地で栽培されていましたが、栽培の大変さや安価な外国産の輸入により、現在、国内で商用として生産しているのは大野市内の約10戸だけとなっています。



## 1 生産概況

### ①生産地

高標高地で涼しく、直射日光の当たらない場所が栽培に適しています。  
標高800～1000mの雑木林の下で、合計20haほどで栽培を行っています。

### ②栽培の概要

品 種：セリバオウレン

作 型：収穫は春先と8～10月。

種まきから収穫まで約15年かかり、収穫しない畑でも、毎年の草刈りや倒木等の除去が必要です。

収穫したものも、出荷までには、乾燥や毛焼きなどのいくつかの仕上げの作業を行います。

## 2 林業遺産認定

「林業遺産」は、林業の歴史を将来に伝えるため、林業に関連する景観や生産技術、特徴的な道具類などを認定するものです。越前オウレンは平成27年に福井県内で初めて認定されました。



認定書



栽培地